

令和6年山形県教育委員会12月定例会

令和6年12月24日  
県庁舎教育委員室

- 1 開 会 午後2時
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会期の決定
- 4 報 告
  - (1) 新庄市に新設する新高校の校名について (高校教育課高校未来創造室)
  - (2) 山形県立米沢鶴城高等学校校歌の制作について  
(高校教育課高校未来創造室)
  - (3) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について  
(学校体育保健課)
- 5 議 題
  - 議第1号 山形県図書館協議会委員の任命について  
(生涯教育・学習振興課)
  - 議第2号 山形県産業教育審議会委員の解任及び任命について  
(高校教育課)
  - 議第3号 教職員の人事について (教職員課)
- 6 閉 会

令和 6 年 12 月 24 日  
高校未来創造室

## 新庄市に新設する新高校の校名について

### 1 公募状況

- 令和 6 年 6 月 1 日から 6 月 30 日までの公募期間中に寄せられた校名案は、応募総数 371 件、応募校名数 205 点。
- 応募のあった主な校名案（応募数）  
新庄(46 件)、新庄明倫堂(29 件)、新庄紫陽花(21 件)など

### 2 校名

「可能性への挑戦」「創造的な学び」「持続可能な社会づくり」を基本理念とし、令和 8 年 4 月に開校する新庄北高校と新庄南高校を統合した新高校の校名は、次のとおりとする。

やまがたけんりつしんじょう し せいかんこうとうがっこう  
**山形県立新庄志誠館高等学校**

- 生徒一人ひとりが誠の心と高い志を持ち、新しい価値創造に挑戦し、地域の明るい未来を切り拓く人材を育成する学校となることへの期待を込め、「新庄志誠館高校」とするものである。
- 「誠」の字は、新庄北高校・新庄南高校の校訓に用いられている。

※令和 7 年 6 月議会に、山形県県立学校設置条例の改正案を上程する。

令和 6 年 12 月 24 日  
 高校未来創造室

## 山形県立米沢鶴城高等学校 校歌の制作について

### 1 制作者

《作詞：藤林 聖子<sup>ふじばやし しょうこ</sup>》

山形市出身、東京都在住の作詞家。  
 1995 年デビュー以来 J-POP (安室奈美恵、西川貴教、三浦大知ほか)、K-POP (BIGBANG、BTS、TWICE ほか)、アニメ (「ONE PIECE」主題歌「ウィーアー！」ほか)、特撮 (仮面ライダーシリーズ、スーパー戦隊シリーズほか) 等多岐にわたる分野で 1300 曲以上の歌詞を手がけている。

《作編曲：稲毛 謙介<sup>いなげ けんすけ</sup>》

米沢市 (米沢商業高校) 出身、東京在住の作曲家、編曲家、音楽プロデューサー。  
 尚美学園大学で作曲を専攻し、富田勲氏に師事。  
 株式会社コーエー (現・コーエーテクモゲームス) で『戦国無双シリーズ』をはじめとする数々のゲーム音楽を手がけたのち、2014 年に株式会社テンペストスタジオを設立。ゲーム音楽、劇伴、アーティストへの楽曲提供など幅広く活動している。

### 2 校歌 (別紙のとおり)

### 3 制作者の意図 (コメント)

#### ○作詞 藤林 聖子 氏

この度山形県立米沢鶴城高校様の開校にあたり、校歌の歌詞を書かせていただきましたこと、大変名誉に思っております。今年の夏に実際に校舎にお伺いし、見渡す限りの山々に段々と白い雲が横たわっていて、まるで空の上に海があるような絶景に感動しました。

この学舎で学ばれる皆さんの未来も、この米沢の景色のように果てしなく広がり続けるのだろうとイメージした時、歴史ある米沢工業高校と米沢商業高校の二つの翼が新学校の名前の由来でもある鶴が羽ばたく姿と重なり、校歌の歌詞に反映させていただきました。大河の源、教育の源で学ばれる皆さんのかけがえのない経験に寄り添うような校歌になって欲しいと心から願います。この度は大変名誉な機会をいただきましてありがとうございました。

#### ○作編曲 稲毛 謙介 氏

母校の新しい門出に校歌の作曲という形で関わらせていただけたこと、大変光栄なこととございます。これからの時代を担う若者たちに長く愛される校歌にすべく、伝統的な校歌のスタイルと現代のエッセンスを織り交ぜながら作曲しました。歌詞に込められた未来への希望、夢へ向かって飛び立つイメージを大切に、快活で希望に満ちた楽曲に仕上がったのではないかと思います。学生・教職員の方々はもちろん、地元米沢の皆様が親しんでいただければ、作曲者としてこれ以上のことはありません。このような名誉な機会を賜り、ありがとうございました。米沢鶴城高校および、米沢市のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

### 4 今後の予定

令和 6 年 12 月 24 日 プレスリリース及び米沢鶴城高校特設サイトに音源データ掲載

## 「夢を追う翼」

一

せかい ひろ かな たび で こころ うご  
世界の広さを語るなら 旅に出て心を動かそう  
うちゅう じだい あゆみ かくこみ みらい ぬか  
宇宙の時代を歩むなら 過去見た未来 塗り替えよう  
かずかぎ かのうせい す こころ うた じゆう うた  
数限りない可能性 吸い込み歌え 自由の歌

たいが げんりゅう みらい きぼうをそ こ  
大河の源流とめどなく 未来への希望注ぎ込む  
よねざわかくじょうこうとうがっこう りょうよくひろ ゆめ と  
米沢鶴城高等学校 両翼広げ 夢へ飛べ

二

じぶん りそう おも とき だれ しあわ おも は  
自分の理想を思う時 誰かの幸せ思い馳せて  
じぶん こせい ひか とき れきし か れいめい  
自分の個性が光る時 歴史さえ変える黎明に  
かなた きぼうしん えいこう かね な  
彼方の希望信じれば やがて栄光の鐘が鳴る

せつか しずくき さくら しぜん おし こころ う  
雪花の雫咲かす桜 自然の教え心に受け  
よねざわかくじょうこうとうがっこう りょうよくひろ ゆめ お  
米沢鶴城高等学校 両翼広げ 夢を追え

三

だれ し じぶん み なお とき  
誰かのことを知るために 自分を見つめ直す時は  
ちが りかい ぶか とも とも うつ かがみ  
違いを理解で深めあう 友とは共に映す鏡  
たどえ せつ なが め とじ み むげん そら  
たとえ季節が流れても 目を閉じて見る 無限の空

あつま やま ふ お がせ つか と た  
吾妻の山から吹き下ろす 風を掴んで飛び立とう  
よねざわかくじょうこうとうがっこう りょうよくひろ ゆめつか  
米沢鶴城高等学校 両翼広げ 夢掴め

## 「令和6年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査」結果について

### 1 調査の概要

学校での体育・健康等に関する指導改善に活用することなどを目的に、毎年、小学校5年生（以下「小5」）と中学校2年生（以下「中2」）の男女を対象（全国悉皆調査）に、8種目の実技に関する調査と質問紙による運動習慣等に関する調査を実施している。

本県実施状況 \*特別支援学校一部含む

本県実施状況	学校数	男子	女子	合計
小学校5年生	217校	3,806人	3,774人	7,580人
中学校2年生	92校	3,623人	3,506人	7,129人

### 2 結果の概要

- 全国平均との比較
- 体力合計点において小5男・女、中2男子が昨年度に引き続き全国平均を上回り、中2女子は全国平均を下回った。
- 小5女子は平成20年度の調査開始以降継続して全国平均を上回っている。

表1 令和6年度 本県児童生徒の種目別結果と体力合計点の全国平均比較

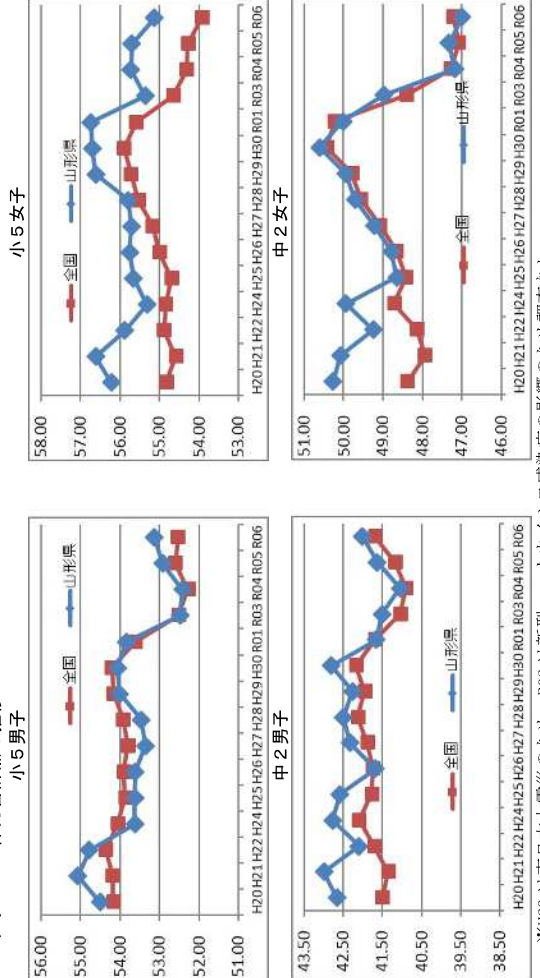
(○：全国平均を上回った種目、△：全国平均を下回った種目)

	① 体力	② 上体起こし	③ 長距離体前屈	④ 反復横とび	⑤ 持久走	⑥ 20mドリル	⑦ 50m走	⑧ 立ち幅とび	⑨ ボール投げ	体力合計点(点)			
										全国平均	全国差		
小学校5年生	○	○	△	○	○	○	△	○	○	6	53.13	52.54	+0.59
中学校2年生	○	△	△	○	○	○	△	○	○	6	55.13	53.93	+1.20
小学校5年生	○	○	△	○	○	○	△	○	○	6	42.01	41.69	+0.32
中学校2年生	○	△	△	△	○	○	=	△	○	4	46.99	47.22	-0.23

### (2) 山形県の過去の記録との比較

- 体力合計点において、小5男子・中2男子は上昇傾向、小5女子・中2女子は昨年度を下回った。

グラフ1 体力合計点の推移



※H23は、東日本大震災のため、R02は新型コロナウイルス感染症の影響のため調査なし

### 3 本県小・中学生の状況

- (1) 小学生 ※資料2-1参照
  - ① 体力総合評価において、男子は上位層が増加し、女子は下位層が増加している。
  - ② 朝食を「毎日食べる」割合は男女とも前年度より増加し、睡眠時間が「8時間以上」の割合は男子で増加している。スクリーンタイムは、男女で「3時間以上」の児童の割合が年々増加している。
- (2) 中学生 ※資料2-2参照
  - ① 体力総合評価において、男子は上位層が増加し、女子は下位層が増加している。
  - ② 朝食を「毎日食べる」割合は男子が前年度より増加し、睡眠時間が「8時間以上」の割合は男女とも増加している。スクリーンタイムは、男女で「3時間以上」の生徒の割合が年々増加している。

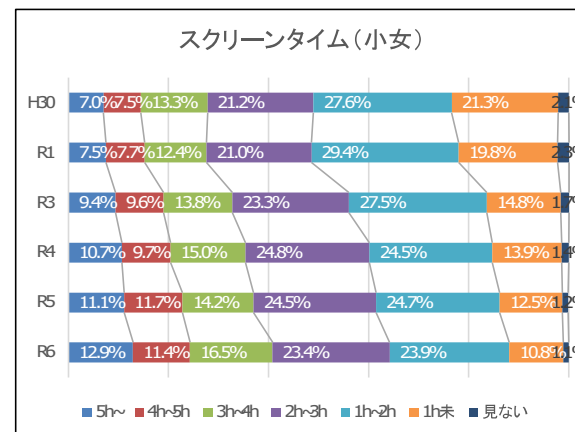
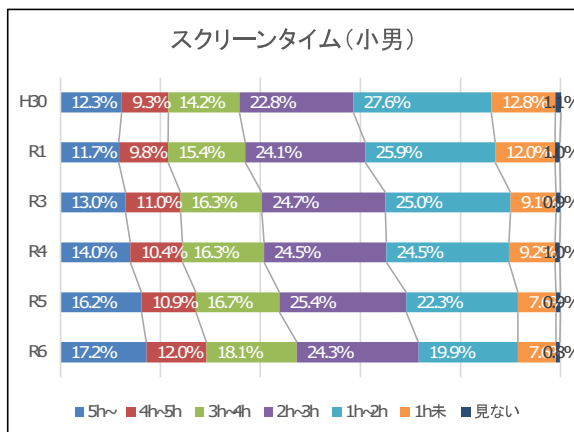
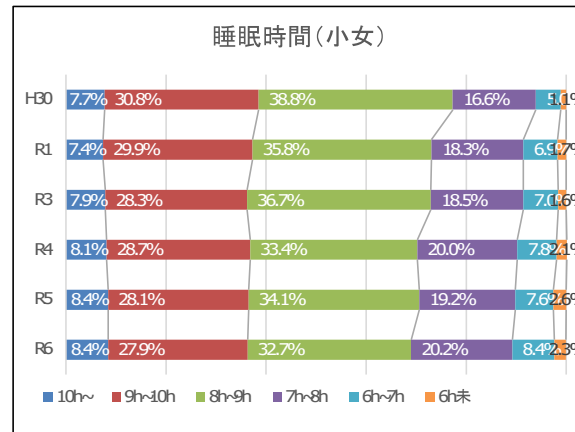
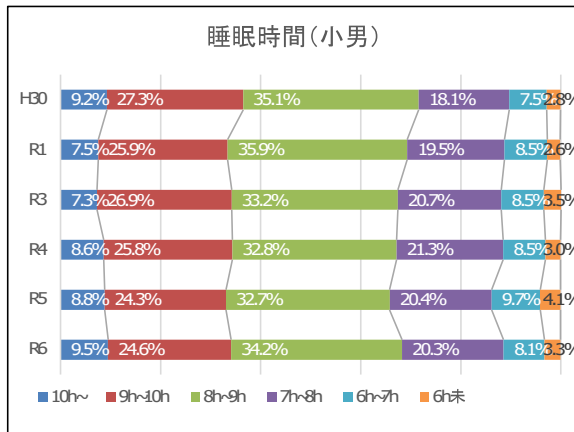
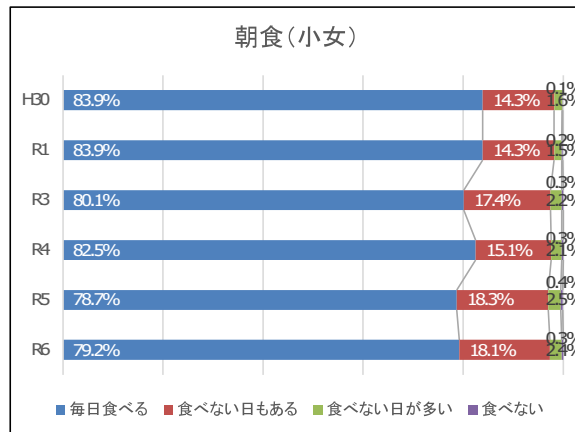
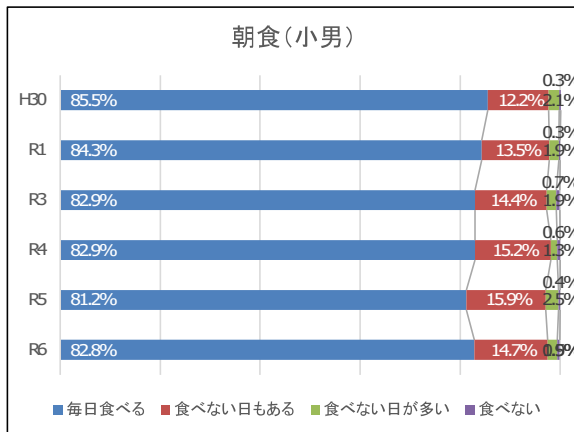
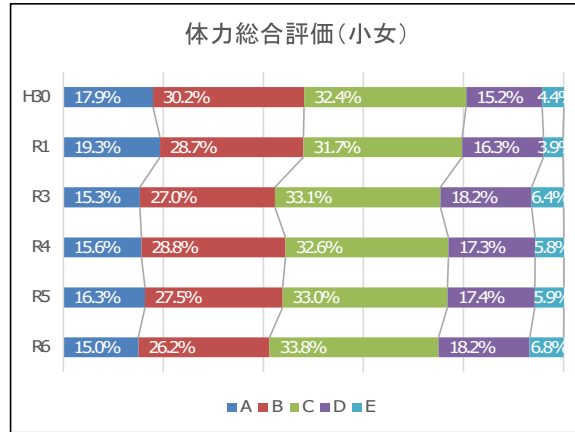
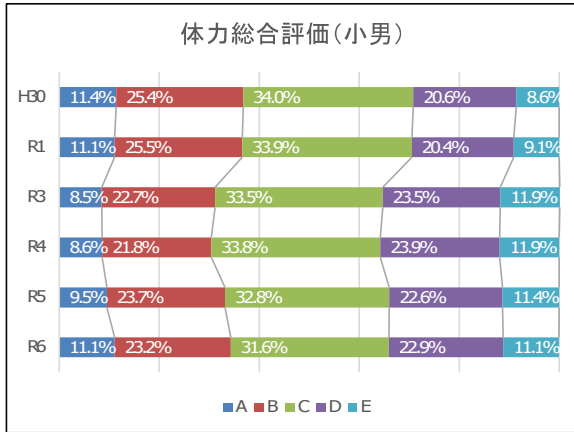
### 4 R5本県の取組み

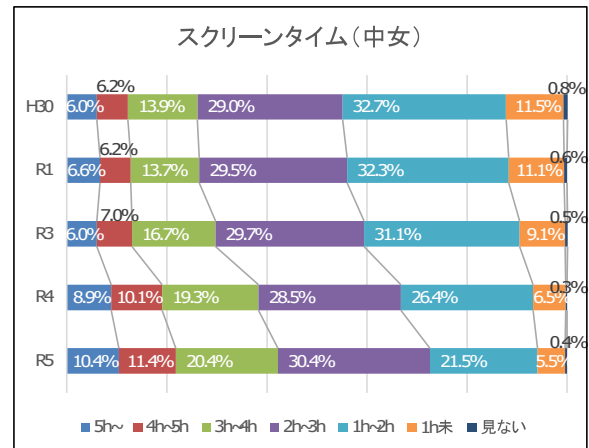
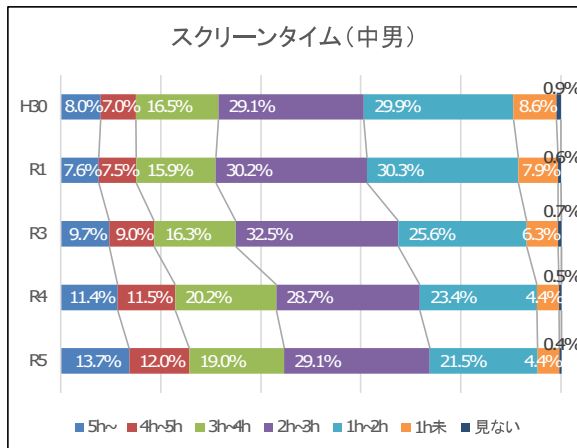
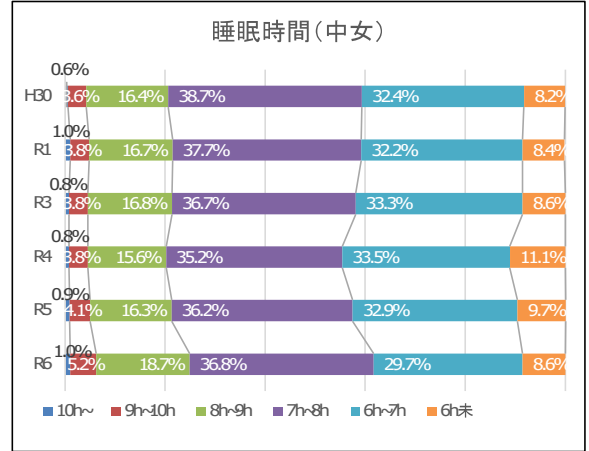
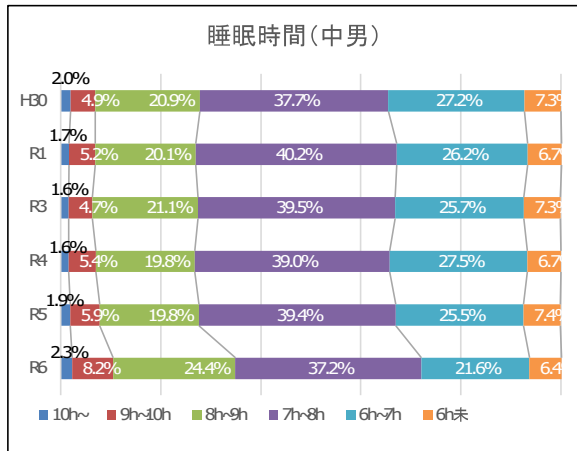
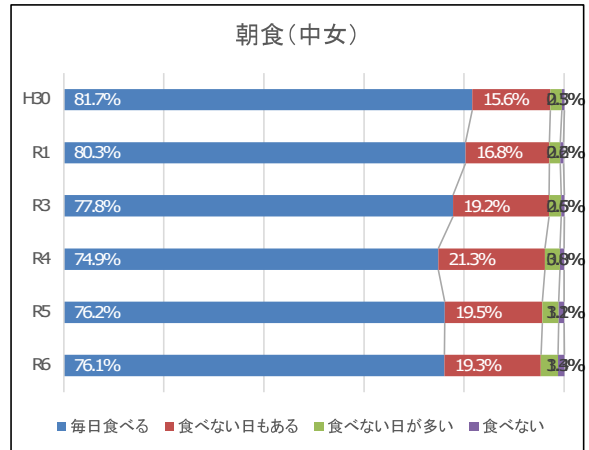
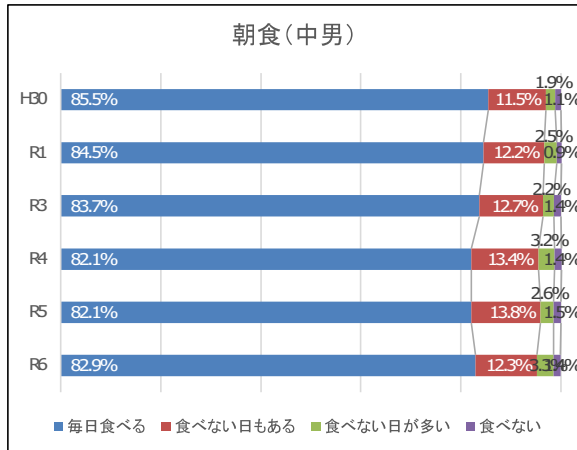
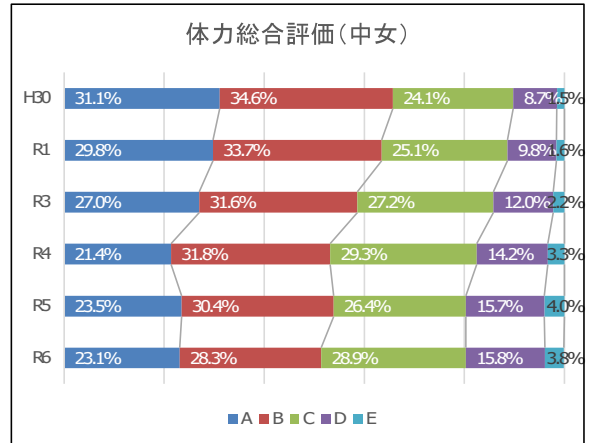
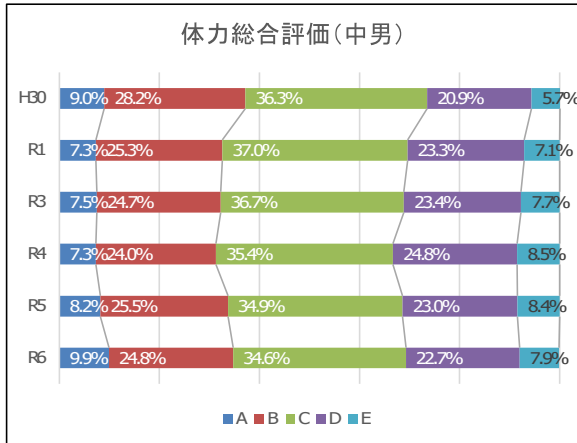
- <取組み>
  - 令和5年2月開催の体力向上対策会議において、「わかる・できる・楽しい」体育授業の実現を目指し、自校の児童生徒の測定結果や運動・遊びの状況を把握し、必要な取組みについて企画・実施するよう各学校に報告、令和5年度に各学校において取組みを実践。
  - 各種研修や全国学校体育研究大会（R5.11月）に向けた取組みにより、各学校における、学習指導要領の内容を踏まえた授業改善を推進。
- <成果> ※資料2-3参照
  - コロナ禍に低下した児童生徒の運動に対する意識（運動が好きか、運動は大切か）に関する質問紙の回答が改善傾向を示しており、全ての対象で全国平均を上回っている。この数値の増加は、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を育むうえで重要と捉えている。
  - 各学校においては、体力向上を視野に入れつつ、児童生徒にとって楽しい体育授業となるよう、協働的な活動やICT活用や工夫等により授業改善に取り組んだことが窺える。
- <課題> ※資料2-4参照
  - 体力向上に向けた取組みの改善
    - ・ 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、学校として目標を設定したり、自分なりの目標を立てる児童生徒の割合が、体力合計点の優良な県と比較すると開きがある。
  - 生活習慣の改善
    - ・ 全ての対象で、スクリーンタイムが「3時間以上」の児童生徒の割合が増加している。

### 5 県教育委員会の今後の対応

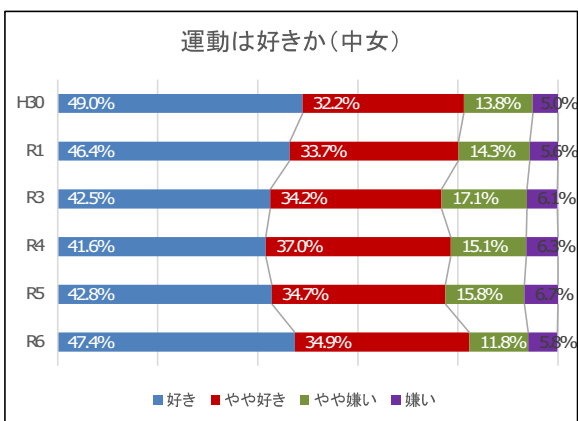
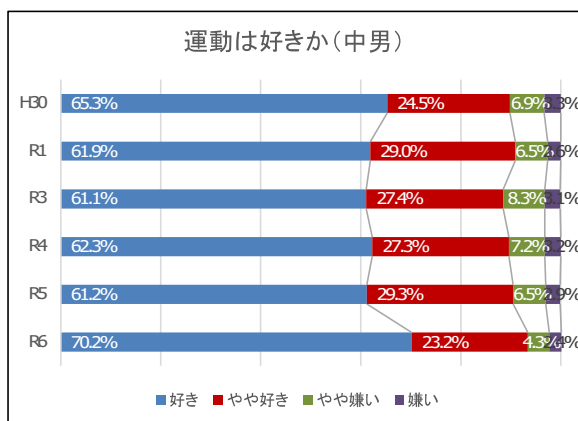
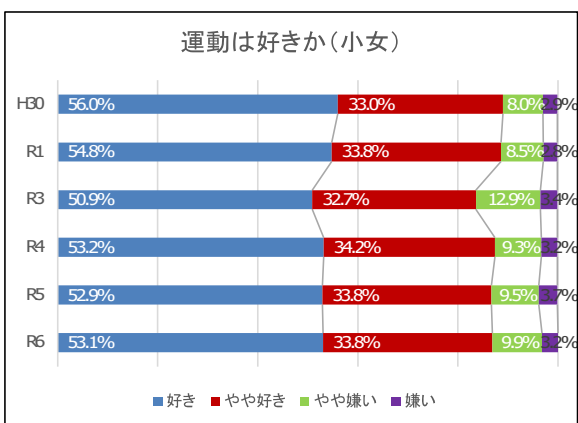
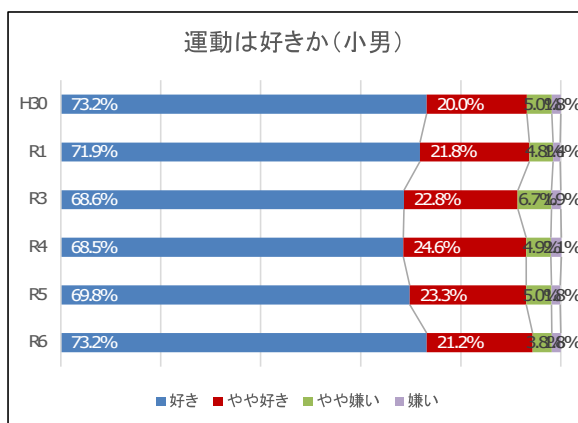
- 体力向上推進委員会を開催し、今回の調査結果について分析。
- 運動やスポーツをすることが好きな子どもたちの育成を目指し、地区ごとに体力向上対策会議を開催し、本県の課題を各学校に共有。各学校はこれを受け体育授業の工夫や、「1学校1取組み」等の学校全体の取組みの改善、家庭と連携した取組みを推進。
- 新たに各学校が体育授業や体力向上の好事例について共有できるデータベースを活用した授業改善及び「体育」と「保健」を関連させた授業の推進。
- 子どもたちの健康づくり連携事業を活用した専門医の派遣により、児童生徒の運動習慣や食習慣、メディアなどの付き合い方を含む規則正しい生活習慣の確立に関する啓発。

① 小学生

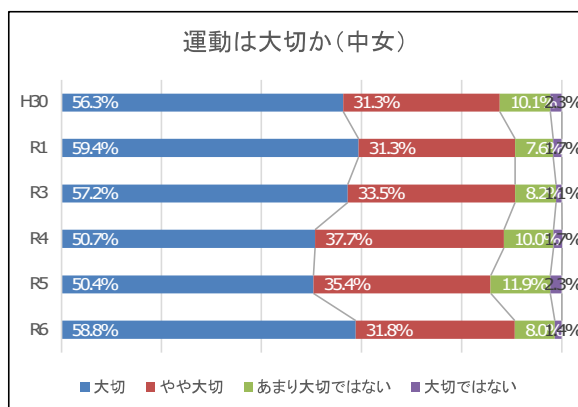
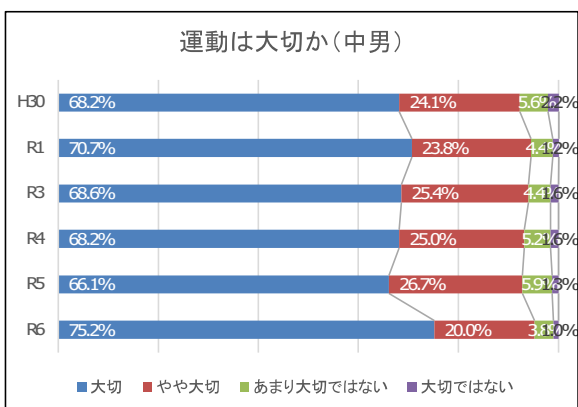
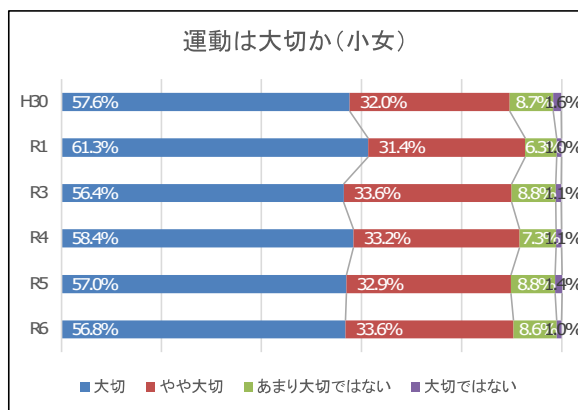
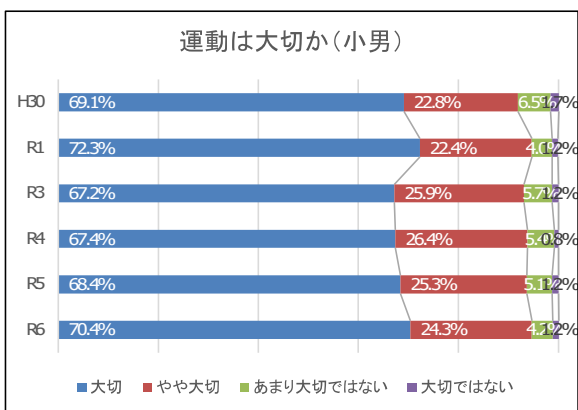




・運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか



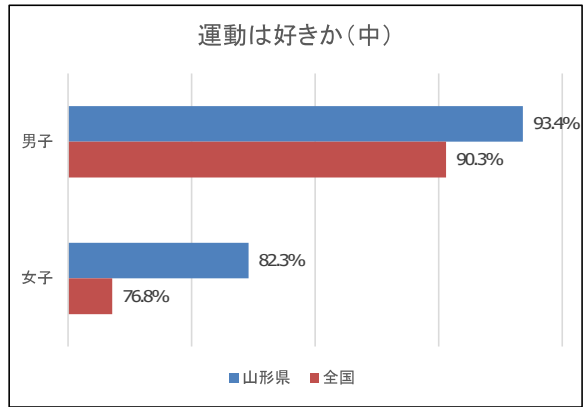
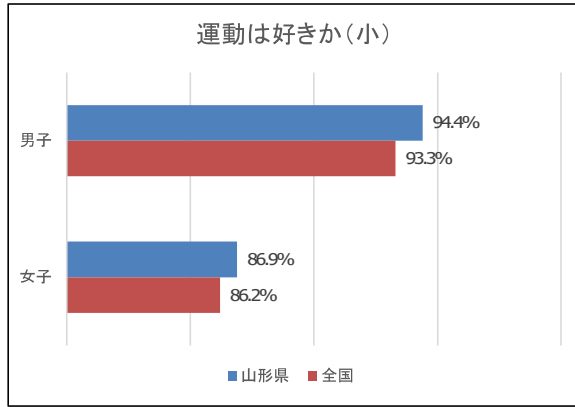
・あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツは大切なものですか



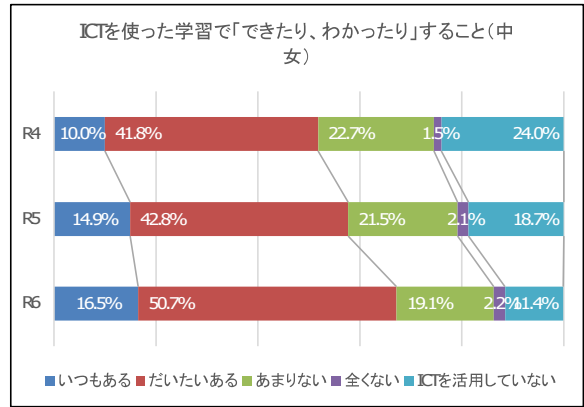
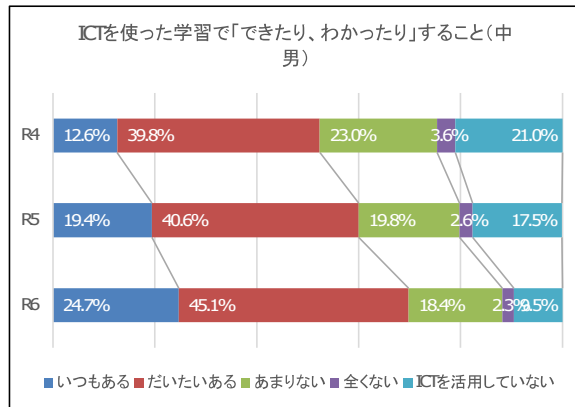


・「運動が好き・やや好き」と回答した児童生徒の割合（全国との比較）

資料 2-3



・体育(保健体育)授業での効果的なICT活用



(3) 本県の課題

資料 2-4

・令和5年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。  
(東北6県、体力合計点優良県との比較)

